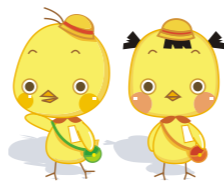
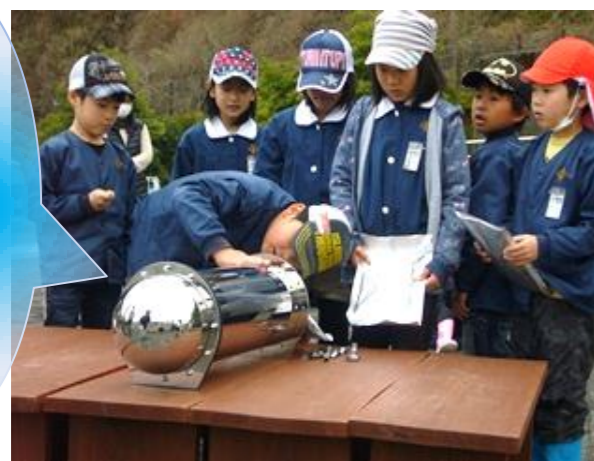


タイムカプセル埋設



20年後に何書いたか楽しみやろか？



中筋川ダムでは、3月20日に平田小学校・三原小学校の生徒が見守るなか、タイムカプセルを埋設しました。

この場所は、昨年の8月に「平成5年のダム本体コンクリートの打設完了式において埋設したタイムカプセル」を20年ぶりに開封した場所です。同じ場所に、平田小学校・三原小学校の生徒が書いた「手紙・絵」などをタイムカプセルに入れ、ふたたび埋設しました。

生徒のみなさんは、20年後に再会することを約束して、最後は中筋川ダムの特徴の洗浄放水に感激していました。



よいしょ！



／すご～いね！！／



ダムの上から水が滝のように落ちる様子に感激！！



タイムカプセルと一緒に記念撮影

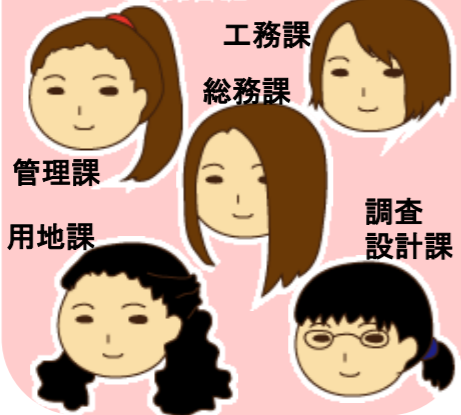
編集後記

総務課で働き始めてあっという間に1年がたちました。時間が経つのは早いですね。

さて、今回は横瀬川ダムの現場紹介を裏面に載せています。私たちも初めて現場に行き、現場で働いている女性の方のお話を聞いてきました。現場に行くまでは不安でしたが、すごく丁寧に教えて頂きました。わかりやすい記事になっていると思いますので、ぜひ読んでみて下さいね。

総務課

編集担当



「ほたるっ子」に関するご意見・お問い合わせ、横瀬川ダム工事見学をご希望の方はこちらまで

■中筋川総合開発工事事務所
高知県宿毛市平田町戸内1692-1
TEL: 0880-66-0142 FAX: 0880-66-1435
URL: <http://www.skr.mlit.go.jp/nakasuji/>
MAIL: nakasa60@skr.mlit.go.jp

中筋川ダム見学のお申し込みはこちらまで

■中筋川ダム管理庁舎
高知県宿毛市平田町黒川榑ヶ崎山5312-48
TEL: 0880-66-2501 FAX: 0880-66-2511
MAIL: nakasa52@skr.mlit.go.jp



2014年6月発行

ほたるっ子 vol.17

編集・発行
国土交通省四国地方整備局
中筋川総合開発工事事務所

TOPICS

- ＊ 中筋川のホタル
- ＊ 特集！横瀬川ダムの工事現場 ルポ
- ＊ 20年後の再会を誓ってタイムカプセルを埋設



中筋川ダムの貯水池は、「蛍湖（ほたるこ）」の愛称で親しまれています。これは、ダムが出来た頃（平成8年）に一般公募から選ばれた名前です。“これからも蛍の飛び交う豊かな自然環境が保たれますように”という願いが込められています。

ダムの上流の川沿いでは、毎年5月下旬から6月上旬にかけて、たくさんのホタルが飛び交います。川原の草むらの陰や川にせり出した木の枝の間で、無数の美しい光を観ることができます。ホタルの小さな光の妨げにならないように、5月はダム堤体の夜間ライトアップを中止しています。この「ほたるっ子」を発刊した頃には観賞時期も終盤を迎えている頃です。

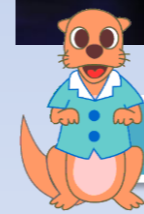


平成25年5月 国交省職員撮影

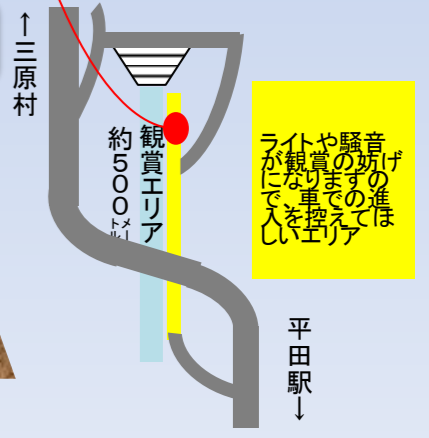
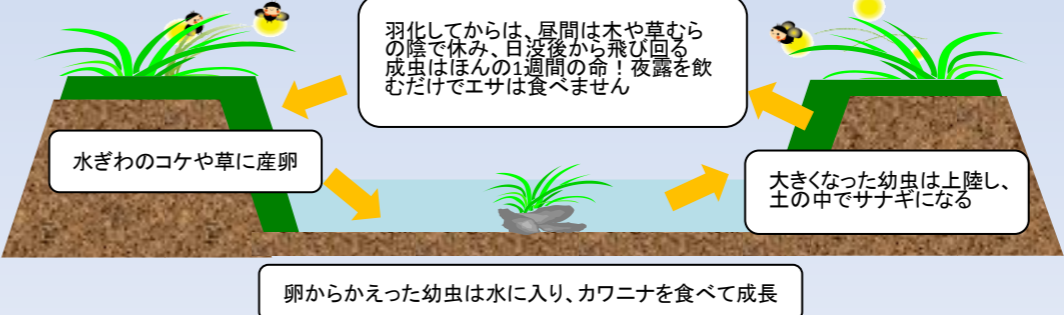


ダムが出来る前の旧道 三原村↔平田町黒川

ダムから100m下流の地点



＊ ホタルは捕らないでください ＊ 写真撮影時にはフラッシュOFF



横瀬川ダム工事現場見学 に行ってきました!



高知県宿毛市山奈町山田に建設予定の横瀬川ダムは、地域のよりよい生活を支えるために今も着々と工事を進めています。現在は、横瀬川ダム本体工事に先駆け、工事用道路付替市道を工事中です。

その工事現場に、**私たち期間業務員**が、見学に行ってきました。



今回私たちが見学することができた工事現場は、付替市道工事です。その中の「FCB工法」作業を見学することができました。



現場は前日の雨の影響もあり、地面がぬかるんでいました。長靴着用で、泥道を進みます。この土は現場の山を削って出てきたものを再利用しているそうです。

山側の斜面は、工事が終了し、きれいに壁が張られている部分もありました。



かるい!!
固まった、気泡コンクリートのかけらを手に持ってみました。びっくりするほど軽いです。なんと、水よりも軽いそうです。まるで、メレンゲのクッキーのような感触です。軽いので、土に負担をかけずに地滑りを防げます。20年前に工事した場所を調べても、何も問題なかったそうです。



気泡コンクリートを流し込むためのホースは300メートルあり、現場に作られた気泡コンクリートを作る工場から作業場所に直接流し込めるようになっています。

当日は、2つの会社の方の働く姿が見学できました。現在、ダムの周囲の3箇所で行われていて、毎日20人ほどの方が働いているそうです。細かい作業の積み重ねで、大きなものが造られていく様子がわかりました。

3時間ほどで固まるので、次の日には人が乗れます。

ちらりと見える、あの看板まで水が貯まるそうです。この写真を撮っている場所は、将来水に沈む場所。ダムのスケールの大きさを再確認しました。



距離を測っています。



サバとキジがいるそうです。

思っていた以上にシャバシャバの液体がホースから流れ出ます。



打設中

完成済

気泡コンクリートを重ねて、高くしていきます。今年中には現在施行している区間の道路も完成する予定です。ダム全体の完成は平成31年を目指しています。



感想レポート

最初はドキドキでいっぱいでした。着いたら正に「現場!」という空気で、迫力満点でした。特に、気泡コンクリートの液体を流し込むところは興味が湧きました。

私は、ダム建設というのはダム本体だけを作っていると思っていましたが、工事用道路やトンネルなどたくさんの工事も含まれていることに驚きました!

資料で勉強した知識とは違って、発見の連続でしたね。「この莫大な広さにあの高さまでダムが造られるのか」と実際に目にした規模に驚き、感動しました。

道路一つを造るのにも、いくつもの業者さんが関わっていることを知り、工事の大きさを感じました。

ダムは、子供が生まれて成長するように、大切に造られるんですね。長い年月をかけ多くの方の努力によって完成していくことを知りました。

見学させていただき、本当にありがとうございました。

FCB工法(気泡コンクリート)により道路を施工

FCB工法は気泡混合軽量土を盛土材として用いる工法で、軽量性、流動性、自立性など気泡混合軽量土(エアモルタル・エアミルク)の特長を活かし、軟弱地盤上の荷重軽減、橋台背面の土圧軽減等や、通常の土では施工が困難な場所における盛土が可能で軽量盛土工法です。



掘削 壁面材設置 遮水シート ①気泡コンクリート打設 ②補強金網設置

①、②工程を規定の高さまで繰り返します。



着工前



完成



路床盛土

路床盛土・転圧

横瀬川ダム現場見学のご案内

横瀬川ダムでは、一般の方の現場見学も可能です。日時・人数等調整いたしますので、詳しくは中筋川総合開発工事事務所までお問い合わせください。
TEL 0880-66-0142